

お済みですか？風しんの予防接種

「予防接種を受けて、将来生まれてくる赤ちゃんを守りましょう」

▼問い合わせ先 保健センター ☎(34)533-11 FAX(34)50909

風しんは、一般に「3日ばしか」とも呼ばれるウイルス感染症です。近年、全国的に流行の兆しをみせている風しん。今回はこの風しんの予防接種について、保健センターの樋口朱美保健師に話を聞きました。

Q 風しんとはどんな病気ですか

A 発熱とともに全身に淡い発疹が現れますが、通常3日ほどで消えます。

Q 風しんに関して注意することは

A 発疹が現れるまでの潜伏期間は2、3週間ですが、その間にもほかの人に感染する可能性があります。幼児から小学校低学年までに多く発症しますが、子どもより大人の方が発症した場合に重症になる場合が多いと言われ



◆保健センター 樋口朱美 保健師

ています。特に今まで風しんにかかったことがない女性が、妊娠初期に風しんにかかることで出生児に「先天性風しん症候群」と呼ばれる障害を及ぼす可能性がありますので、注意が必要です。もし妊娠初期に風しんに感染した場合は、産婦人科医の指示をお聞きください。

Q 「先天性風しん症候群」とは

A 免疫のない女性が妊娠初期に風しんにかかると、出生児の心臓に障害が現れたり、難聴や白内障になったりするものです。

Q 風しんを予防するには

A 風しんの予防接種を受けて、体の中に抗体をつくっておくことが最も有効です。

Q 特に予防接種を受けてもらいたい人は

A 妊婦への感染を予防し「先天性風しん症候群」を防ぐために、次に該当する人はぜひ予防接種を受けてください。

- ① 妊婦の夫、子どもおよび同居の家族
- ② 10代後半から40代の女性（特に妊娠希望者または妊娠する可能性の高い人）
- ③ 産じよく早期（分娩後に母体が妊娠前の状態にもどるまでの6から8週間のうちの早い時期）の女性

※ただし、①から③までのうち明らかに風しんにかかった人や予防接種を受けた人、抗体陽性確認がある人を除きます。また妊婦は予防接種を受けられませんが、妊娠前に風しんの予防接種が必要かどうかは、かかりつけの医師に相談するとよいでしょう。



Q 風しんの予防接種を受けるには

A 予防接種の予約・費用は直接医療機関へ電話でお問い合わせください。なお7歳未満のお子さんは公費で予防接種が受けられます。（対象者には1歳児のころに通知済み）

医療機関名（所在地）	電話番号
くまさんこどもクリニック（三好字中島）	☎(33)3555
鈴木内科クリニック（黒笹字下田）	☎(36)7373
たきざわ胃腸科外科（三好字中島）	☎(33)5555
天王内科（三好字天王）	☎(32)2002
永井医院（三好字弥栄）	☎(33)5211
花レディースクリニック（福谷字細田）	☎(33)0311
ひらの内科クリニック（三好丘7丁目）	☎(36)1008
まつおかこどもクリニック（三好字上ヶ池）	☎(34)0181
三好ヶ丘クリニック（三好丘1丁目）	☎(36)2000
三好丘こどもクリニック（三好丘3丁目）	☎(33)0505
三好ヶ丘メディカルクリニック（福谷寺田）	☎(36)5011
三好町民病院（三好字八和田山）	☎(33)3300

※五十音順

「国境―三河と尾張―」

く に さ かい
 歴史民俗資料館秋季特別展



写真上:黒笹村絵図 文化11年(1814年)



写真右上:参河国全図 天保8年(1837年)

写真右下:三河国輿地全図
 江戸時代後期(天保から安政年間)



三河の最西端に位置し、尾張との境界に接する三好町。その境界線となる国境へくにごかいの二つに、境川があります。

三好町の北部に源流がある境川は、町内を縦貫しているため、尾張との国境の一部は、境川ではなく三好の村境でした。そのため、三好と尾張の村とはいくつかの道で結ばれており、三好町は古くから、三河でありながら尾張と深い関わりを持っていました。

今回の展示会では、江戸時代から明治時代の三河国と尾張国の絵図を中心に、国境としての境川や三河と尾張の国境に関する資料を展示紹介します。絵図や道中記などに記された境川や街道、三好を含む国境付近の様子を眺めながら、当時の様子に思いをはせてみませんか。

- ▼とき 12月12日(日)まで
- ▼ところ 歴史民俗資料館
- ▼開館時間 午前9時から午後4時30分まで
- ▼休館日 毎週月曜日
- ▼その他 絵図を解説した図録あり
- ▼問い合わせ 歴史民俗資料館

☎(34)50000 ㊟(34)51500



東海道名所一覽 (葛飾北斎 文政元年(1818年))



一目玉鉾 (井原西鶴 元禄2年(1689年))